

一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会 福祉・労働委員会
FAX 048-825-0774 TEL 048-824-5277
Homepage <http://sai-deaf.org/>

埼玉県手話通訳問題研究会 医療プロジェクト
TEL&FAX 049-295-5214

聴覚に障害を持つ人と 医療現場で働く人の コミュニケーションを 円滑にするために

一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会
福祉・労働委員会

埼玉県手話通訳問題研究会
医療プロジェクト

詳しく知りたい方は下記を参考にしてください。

- ・ 一般財団法人全日本ろうあ連盟
<http://www.jfd.or.jp/>
- ・ 一般社団法人全国手話通訳問題研究会
<http://www.zentsuken.net/>
- ・ 聴覚障害者のための放射線部門におけるガイドライン(公益社団法人日本診療放射線技師会)
- ・ 書籍：医療の手話シリーズ
(1) (2) (3) (別冊)
発行：一般財団法人全日本ろうあ連盟

(① やま折り)

● 聴覚障害者一人ひとりに合ったコミュニケーション方法を見つけ、部署でも対応できるように。
● 受診している聴覚障害者本人に話しかけてください。
● 検査や手術など重要な説明がある時は手話通訳・要約筆記の依頼を勧めてください。
● 聴覚障害者が安心して主体的に医療を受けられるように配慮をお願いします。



埼玉県内の自治体では手話通訳者と要約筆記者の派遣をおこなっています。詳しくは自治体のパンフレットをご覧になるか、または自治体にお問い合わせください。

あきらめ 面倒など

コミュニケーションに時間がかかると理由)聞き返せない 周りに合わせる
分からなくても分かたふりをする

●聴覚障害者の傾向

手話 筆談 空書き 口話 身振り
組み合わせたり 使い分けたりする

●コミュニケーション方法

補聴器、人工内耳でも完全に聞こえる訳ではありません。








「ろう」～「軽度難聴」
生まれつき聞こえない人 進行中の人
聞こえに変動がある人 片耳が聞こえない人
補聴器使用の人 人工内耳の人

●聞こえの程度、状況はそれぞれ

(② たに折り)



実践!! すぐに役立つ対応例

<p>受付・呼出</p> 	<p>バイブ(振動)機能付きの呼び出し器具を貸し出す。 近くに行って目を合わせてから声をかける。</p>
<p>マスク</p> 	<p>口の動きも言葉を読み取る補助になるので、マスクを下げて、口をはっきり開けてゆっくり話す。</p>
<p>診察室</p> 	<p>パソコンの画面を見たままでの説明は、口の形や表情が読み取れず、不安になる。時々顔を見て話しかける。</p>
<p>眼科の検査・レントゲン撮影など</p> 	<p>事前に説明したり、合図を決めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェスチャーや肩をたたくなど体の一部にふれる。 簡単な文字や絵をカードに書いて示す。 ライト(光)で伝える。
<p>家族・通訳が同行</p> 	<p>説明や質問は受診している本人に話しかける。</p>
<p>専門用語・難しい説明</p> 	<p>模型・写真・絵などの視覚的な情報を併用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨や歯の模型、ペインスケール(痛みの程度を表す図)など
<p>抽象的な言葉</p> 	<p>具体的な言い方にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 症状の度合い: 時々、しばしば→何時間おき、1日何回 時間の経過: しばらく、数日→具体的な時間、日にち
<p>予約・問い合わせ</p> 	<p>ファックス・メールでの対応をする。</p>

筆談のコツ

- 具体的で簡単な文にする。
- 読みやすい字で書く。
- ひらがなだけでなく、漢字も入れた方が分かる。
- 病名、専門用語など難しい漢字にはルビをふる。
- 文章だけでなく絵(イラスト)を使う。

